



2020年7月

第301号

The Service Club of The YMCA

## 東京八王子 ワイズメンズクラブ

会 長 花輪 宗命  
副会長 山本 英次  
書 記 長谷川あや子  
会 計 小口 多津子  
直前会長 並木 信一  
担当主事 中里 敦  
ブリテン 山本 英次・茂木 稔  
大久保 重子

国際会長 Jacob Kristensen(デンマーク) 主題 価値観、エクステンション、リーダーシップ スローガン「命の川を信じよう」  
アジア太平洋地域会長 David Lua(シンガポール) 主題:「変化をもたらそう」  
スローガン;「奮い立たせよう」  
東日本区理事 板村 哲也(東京武蔵野多摩) 主題:「変化を楽しもう」  
副題:「助け合い、分かち合い」  
あずさ部部長 御園生 好子(東京サンライズ) 主題:「変わるに挑戦!」  
クラブ会長 花輪 宗命 主題:「すべてに感謝」

### 7月例会プログラム (キックオフ例会)

担当C班 (山本、大久保、茂木、並木信一)

日時: 7月11日(土) 午後6時~8時30分

会場: 八王子市北野事務所 2F 大会議室

受付: 山本 大久保

司会: 並木信一

開会点鐘 会長 花輪 宗命

ワイズソング 一同

ワイズの信条 一同

ゲスト・ビジターの紹介 会長 花輪 宗命

聖句朗読 食前の感謝 並木 信一

会食 一同

新会長の主題・所信表明スピーチ 会長 花輪 宗命

今年度クラブ役員構成の説明

班編成の説明

あずさ部行事予定の説明

会員の一人一言 一同

連絡・報告事項 各委員

スマイル 大久保

ハッピーバースデー 会長 花輪 宗命

閉会点鐘 会長 花輪 宗命

### 巻頭言

#### 新年度の抱負

会長 花輪 宗命

東京八王子ワイズメンズクラブも、いよいよ新年度の歩みを始めました。

私は、今年度の当クラブ会長を拝命した花輪宗命です。私は、今日のこの日を虚心坦懐というか、寧ろ感謝の気持ちからの軽い緊張感をもって迎えました。

ご案内のように、私は、八王子クラブへの入会を許されてから日が浅く、未だに諸先輩から基本的なことを学びながら活動に参加している身です。当クラブには、東方の三賢人さな

#### 先月の例会ポイント (6月)

		BF ポイント	
在籍	16名	切手(国内・海外)	6g
メン	11名	累計	500g
メイキャップ	0名	現金	0円
出席率	69%	累計	0円
メネット	1名	スマイル	0円
ゲスト	0名	累計	69,323円
ひつじぐも	0名	オークション	0円
		累計	0円

#### 今月の聖句(2020年7月)

あなたがたは地上に宝を積んではならない。そこでは、虫が食って損なったり、盗人が忍び込んで盗み出したりする。宝は天に積みなさい。そこでは、虫が食って損なうこともなく、盗人が忍び込んで盗みだすこともない。あなたの宝のあるところに、あなたの心もあるのだ。

新約聖書マタイによる福音書 6:19~21

がらの立派なワイズメンのお歴々や、慈愛に満ちたマリア様のようなメネットさん達がおられるので、おほけなくもそのクラブの会長に就くことなど夢にも想っていませんでした。

加えて、近年、就中2019年度は、大規模自然災害や未知の感染症の世界規模の蔓延に見舞われ、当クラブは、これまで営々と積み上げてきた活動を継続・発展させるには、極めて困難な経営環境に追い込まれています。この難局を切り抜けるには、諸先輩が示してこられたような抜群のリーダーシップが求められますが、私には、そのような資質が備わっているとは到底思えません。

しかし、偶然の巡り合わせで会長就任をお引き受けしてから、一步身を引いて考えてみたら、今年は、米国のオハイオ州でワイズメンズクラブが創立されてから100周年の記念すべき年であることに気づきました。また、現在の世界を巡る気鬱りな諸現象は、私たちが、これからの時代を生きる若者たちに、旧約聖書の「コヘトの言葉」にあるような励ましをかけるなどの働きかけをしなければならないことを示唆しているようにも思えてきました。

そのように考えると、この極めて重要な年に、優れた諸先輩や若き仲間とともに、ワイズメンの活動に携われることは、この上ない僥倖に巡り合ったも同然と思うに至りました。そのようなことから、私は、「会長主題」を「すべてに感謝」とさせて頂きました。諸先輩及び仲間の皆様のお力添えを頂きながら、素晴らしい2020年度にしていきたいと思っております。何卒宜しくお願いします。

### 緑の木陰で、年度最後の例会

並木 信一

年度の最終例会月である6月例会は、コロナウイルスの感染防止を考慮して、通常の日程と会場を変更し、6月第3土曜日である20日の午後、戸外の昼食会として開催しました。梅雨の最中でもあり、前日は激しい雨で、当日の雨天をも覚悟せざるを得ないところでしたが、4カ月ぶりとなる例会当日は、奇跡的に晴れとなり、長期に亘って全ての集会を自粛しなければならなかった私たちにとっては、鬱屈した気持ちを晴らす、本当に恵まれた日和となりました。会場としたのは、八王子という市名のルーツである、八王子城跡至近の元八王子の「OPEN GARDEN & GALLERY CAFÉ 海の塔」。今の時期、鮮やかな緑の中に、紫陽花を中心に、季節の花々が咲き競う、自然に彩られた閑静な民家の庭園でした。

ここに、メン11名、メネット1名の計12名が集い、年度最後の例会を開催しました。茂木さんは、直前に胆嚢炎を発症、手術を要するため入院、福田さんは、例会日を変更したため、かねての用事でやむなく欠席、其々の止むをえない事情により年度末をもって退(休)会される、辻さん、多河さん、眞野さんは欠席でした。

プログラムは、まず、4月に入会されながら歓迎の時を持つ

ことのできなかった菅野さんにワイズバッジを贈り、拍手をもって歓迎。ゆっくり食事を楽しんだ後、並木会長による、年度の全般に亘る活動の報告、花輪次期会長の新年度運営体制・役割分担、年間行事計画の確認、小口会計による決算、予算の報告、と、クラブ運営上欠くことのできない重要事項を行いました。

新年度は、クラブ創立以来最少となる13名の会員でのスタートとなり、自然災害、新型コロナウイルスに揺れた激動の年度が終わりました。メンバーは減少しましたが、下向きにならず、これからクラブをどこに向けていけばよいのか、互いに問い合いつつも、東京八王子ワイズメンズクラブは前向きに歩んでいきたいものと思います。

例会終了後は、日本100名城の一つに挙げられる八王子城跡のガイダンス施設を見学しました。丁度430年前の1590年の6月23日(例会日の3日後が記念日)、豊臣の関東征伐で、豊臣方の前田利家、上杉景勝の軍勢により、激戦の末に一日で落城した八王子城(城主・北條氏照)の落城がきっかけとなり、小田原北條氏は滅亡しました。その後、関東は徳川家康に与えられ、徳川による江戸幕府がはじまることとなりますが、八王子城の落城は、日本の歴史の屈折点にも関わることを見ると、この時、この場所にも感慨深いものがありました。



Café 海の塔にて



新旧会長交代式(花輪新会長・並木前会長)

## 高尾わくわくヴィレッジ便り

館長 菅野 牧夫

6月20日(土)の例会はガーデン例会となり、コロナ後しばらくぶりに陽にあたり、きれいな花々や緑に囲まれ、うきうきした気持の例会でした。並木元会長、素敵な例会を企画いただきありがとうございます。

わくわくでは昨年あたりから敷地内にイノシシが出没し、土を掘り起こし畑や植物に被害が出ています。テントサイトではお客様がイノシシの鳴き声が怖いということで急遽宿泊棟に移動するという事もありました。お客様に何かあっては行けないということで、3月にテントサイトと炊さん場を大きく囲うフェンスを設置しました。外から見ると大きな檻の中でOut Doorをしているようで少し滑稽です…。しかしながらこれで安心してテントの宿泊を取ることができるようになりました。お客様が予約をしてくれることを心待ちにしています。

営業再開をして1ヶ月が過ぎようとしておりますが、客足は戻っておりません。体育室はかろうじて日帰りのお客様で予約が埋まってきていますが、宿泊やその他の施設はまだまだです。皆さんの周りでこの夏休みに宿泊先を探している方がいらっしゃいましたらお声がけください。夏休み期間でも、空いている日がたくさん残ってます。よろしくお願ひします。

町のレストランや食堂では、客足が途絶えてしまったことの打開策として出前やテイクアウトを始めて、収入増のための対応をしています。わくわくヴィレッジも今だからこそ何か新しいことにチャレンジして新規のお客様獲得へと動き始めました。暗い時だから前を向いて進んでいきます。

## 西東京センター便り

所長 中里 敦

YMCAは今年でキャンプ100年を迎えますが、その様な中で夏の宿泊を伴うキャンプが中止になっていることにもどかしさを感じます。コロナ禍の中では3密を避けることが必要なため、キャンプが中止となっていますが、改めて考えるとYMCAは密になることを大切にしてきたのだと感じます。それは、人と人との関わりの中で学び、互いに成長することがYMCAのキャンプの特長だからです。しかし、今回のコロナ禍の中でオンラインでのプログラムを実施し、密を大切にしてきたYMCAにとっては新たな試みの一つでもありました。

西東京センターでも6月の幼児・小学生の定例野外活動が諸事情から屋外で実施できませんでしたが、オンラインで子どもたちと過ごすことができました。オンラインでも喜び楽しんでいる子どもたちの姿にYMCAの活動を待っていてくれたんだと嬉しく感じました。これまでになかったオンラインですが、今までのやり方だけにとらわれることなく、その時々状況に合わせて変わっていくことも必要だと感じました。少しずつ通常の活動に戻つつもありますが、新たなオンラインプログラムがYMCAの活動をより充実していくものになればと思います。今夏は日帰りプログラムが中心ですが、YMCAの特長を忘れることなく子どもたちの成長に少しでも寄与できればと願ひします。

YMCAでは、コロナの影響を受ける青少年支援のためにポジティブネット募金を開始します。誰もが、公平に夢をかなえるチャンスのある地域社会の創造を目指し、特に未来をつくる子どもとユースのために、ご協力をよろしくお願ひいたします。

### 今月の聖句によせて (2020年7月)

国際的な奉仕団体として知られるロータリークラブがアメリカで創立されたのが1905年ですが、日本初の東京ロータリークラブが1920年に創立され、今年10月には満100年の記念の時を迎えます。この日本初のロータリークラブ創立の中心人物が「米山梅吉」です。米山は、三井銀行の重役から、その後、三井信託を創立し、その社長に就任しましたが、その起業の目的を「社会への貢献」としました。晩年は、(財)三井報恩会の理事長となり、ハンセン病、結核、癌研究など広範にわたる社会事業・医療事業に貢献しました。東京ロータリークラブは米山の没後、日本におけるロータリークラブ創立に果たした功績を記念して「(財)ロータリー米山記念奨学会」を設立、「世界に平和の種を蒔く」という使命を掲げ、留学生支援の事業を進めています。この米山梅吉は退職後、退職金他私財全てをなげうって、小学校・幼稚園を設立、自らは校長に、夫人は園長になり、ともに子どもの教育に献身されました。“何事も人々からしてほしいと望むことは人々にもその通りにせよ”との願ひに常に突き動かされていた、とのことです。まさに、米山の生き方は、実業界にあって、地上に宝を積むのではなく、天に宝を積む、「奉仕の人」としての生き方であったと言えるでしょう。

(米山梅吉は、関東大震災で焼失した東京YMCA会館復興募金にあたり、会計監督に就任されました。「ロータリー米山記念奨学会」の運営には、YMCAスタッフOBが携わったこともあり、また、東京YMCAでは、ロータリークラブと協力して、「YMCA-ロータリーキャンプ」を行い、私自身もこのディレクターを務めた経験があります。)

## 中大ひつじぐも便り

中大ひつじぐも ワイズ担当 渡辺 伊純

皆さまいかがお過ごしでしょうか。

暑い日々が続き、コロナ禍での新たな熱中症対策が模索されています。

さて中央大学は引き続き入校禁止の状態となっており、自宅でオンライン授業を行っています。

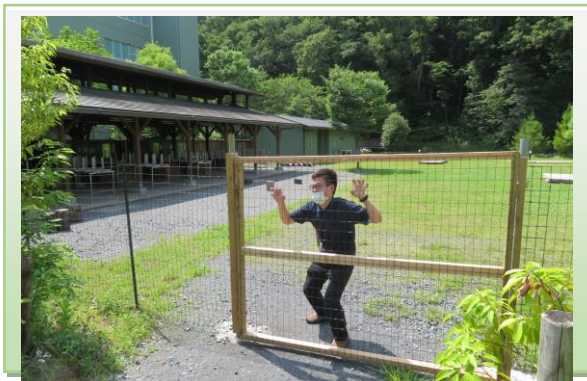
ひつじぐもでは対面で新歓活動を行えないため、ツイッターやインスタグラムなどの SNS を通じて新入生へのサークル紹介を4月から行ってきました。オンライン上での新歓活動では、既存メンバーと新入生とのコミュニケーションの取り方に苦労するなど困難に直面するときもありました。

また、私は5月から全国各地のボランティアサークルが集まり、コロナ禍での活動について考え合う「繋がる大学生ボランティアネットワーク」にひつじぐも代表として参加させていただいています。医療創生大学の学生がリーダーとなり、中央大学、立教大学、東京都立大学、静岡大学、東北大学のメンバーで2週間1度、ZOOM でミーティング行っています。各サークルのオンライン上での新歓活動の報告、以前のボランティア活動を今後も行えるのか。などを話し合いました。

ひつじぐもは新歓活動を終了後、オンライン上で定例会を開催し既存メンバーで今後の活動について話し合いました。その結果、今まで行ってきたボランティアの報告を再度行い、そのボランティアから得られる問題について話し合う勉強会を定例会として毎月オンラインで行うことになりました。

児童館に訪問子どもたちと一緒に活動することや、八王子実習所での活動、ワイズメンズクラブの方々の活動など、実際に現地に赴くボランティアは現時点では行えませんが、オンライン上で今までの活動から得られた知識を深めていく勉強会は、各自がボランティアについて再度考える良い機会となり今後の活動を更により良いものとするのに役立つと思います。

常に試行錯誤をし、現状に適したサークル活動が行えるボランティアサークルでありたいと思っています。



## 報 告

2020年6月第一例会

日時:2020年6月20日(土)13:00~14:30

会場:GARDEN CAFÉ 海の塔(担当A班)

出席:大久保・菅野・久保田・久保田メネ・小口・中里・

並木信一・並木真・長谷川・花輪・望月・山本

・入会歓迎:季節の花の咲くガーデンで菅野牧夫さん(高尾わくわくビレッジ館長)の入会式を行う。

～庭のテーブルで会食～

・19-20年度活動報告(並木会長)

・20-21年度クラブ運営体制、年間行事計画の説明(花輪次期会長より配布の別紙書面)

・第22回チャリティコンサート最終収支報告

・次年度チャリティコンサートについて

現況の報告(久保田さん)

・Happy Birthday 3月~6月生まれの人のお祝い

☆例会終了後、八王子城跡ガイダンス施設に移動、見学をした。

東日本区大会 表彰

東京八王子クラブは、CS 献金達成賞、BF 献金達成賞、BF 使用済み切手収集協力賞、TOF 献金達成賞、RBM 献金達成賞、ロースター広告協力賞

〈西東京センター 主な行事予定〉

・のどトレ教室は、3密対応策が難しいため、9月より開始予定とします。



高尾わくわくヴィレッジのいのしし被害

7月のお誕生日

花輪 宗命 さん 7月8日